

サステナビリティ重点分野の2022年度実績

分野	2022年度までに目指す状態、到達目標 (KPIなど)	2022年度実績	
安全	<p>「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」に掲げる5指標</p> <p>2022年度までの5年間を通じた目標</p> <p>①お客様が死傷する列車事故:ゼロ ②死亡に至る鉄道労災:ゼロ</p> <p>2022年度の到達目標</p> <p>③お客様が死傷する鉄道人身障害事故:さらに1割減 ④踏切障害事故:さらに1割減 ⑤部内原因による輸送障害:さらに1割減</p>	<p>①0件 ②0件</p> <p>③9件 ④22件 ⑤126件</p> <p>①0件[累計0件] ②0件[累計1件]</p> <p>③10件 ④13件 ⑤201件</p>	
CS	<p>お客様に「JR西日本ファン」になっていただく 好感をお持ちのお客様が8割以上</p>	<p>お客様満足度調査 4.0以上</p> <p>3.84</p>	
地域共生	<p>地域の皆様との対話や連携を通じた以下の取り組みが 進捗している状態</p> <p>①訪れたいまちづくり(交流人口の拡大) ②住みたいまちづくり(定住人口の拡大) ③安全で持続可能な鉄道・交通サービスの実現</p>	<p>—</p> <p>・地域からの要望や社会変容を踏まえた地域の活性化 ・地域ビジネスの創出 ・持続可能な地域交通体系の実現(地方型MaaSなど)</p>	
人財・働きがい	<p>人財育成ビジョン推進</p> <p>①「主体性を持ち考動できる社員」 ②「相乗性と思いやりを発揮する職場」 ③「多様性を武器とする企業グループ」</p>	<p>社員意識アンケートによる 各指標7.5以上</p>	<p>①6.31(対前年度比△0.09) ②6.62(対前年度比+0.02) ③6.19(対前年度比+0.02)</p>
	<p>心身の健康(健康経営)</p> <p>①高ストレス者率 ②いきいき職場率 ③定期健康診断における有所見率 ④生活習慣改善行動 a.喫煙率 b.多量飲酒率 c.運動実施率 d.紹介状返信率 e.人間ドック受診率 f.特定健康保険指導実施率</p>	<p>①4%未満 ②80%以上 ③40%未満 ④a.20%未満 b.10%未満 c.30%以上 d.80%以上 e.70%以上 f.80%以上</p>	<p>①5.5% ②64% ③46.2% ④a.22.2% b.11.1% c.26.8% d.56.5% e.48.1% f.76.2%</p>
	<p>ダイバーシティ推進(～2021年度)</p> <p>①採用者の女性割合 ②新卒プロフェッショナル採用(運輸)の女性割合 ③管理職および指導者層の女性の人数 ④多様な社員がキャリアを継続し成長できる環境の整備 ⑤男性の育児休業取得率</p>	<p>①25%以上 ②40%以上 ③2018年度末の1.5倍以上 ④— ⑤15%以上</p>	<p>※2022年4月開始の「女性活躍および次世代育成に関する 行動計画」に基づき実績把握に変更 ①採用者の女性の割合25%以上…31.4% ②管理職および指導者層の女性の人数1.5倍以上 (2021年度末比)…1.13倍 ③男性の育児休業取得率35%以上…54.8%</p>
企業倫理・人権	<p>組織型不祥事などの重大なコンプライアンス違反が 発生していない状態</p>	<p>—</p>	<p>重大な組織型不祥事の発生なし</p>
	<p>人権方針が策定され、社員一人ひとりに周知され 浸透している状態</p>	<p>社員意識アンケートによる認知度 80%以上(2021年度より)</p>	<p>社員意識アンケートによる認知度 80%</p>
	<p>社員が個々の業務の中で人権について考え、 人権を尊重し行動している状態</p>	<p>①人権に関する教育や研修の受講100% ②現業機関における人権デュー・ディリ ジェンス(人権リスクマネジメント)の 実施100%</p>	<p>①受講率:97.3% ②については人権デュー・ディリジェンスの再定義に伴い、 2022年度は実施せず</p>
地球環境	<p>①エネルギー消費原単位 ②省エネルギー車両比率 ③駅ごみ・列車ごみ(資源ごみ)リサイクル率 ④鉄道資材発生品リサイクル率(設備工事) ⑤鉄道資材発生品リサイクル率(車両) ⑥環境に配慮した駅および業務用施設の推進</p>	<p>①2013年度比△3% ②88% ③96% ④97% ⑤92% ⑥—</p>	<p>①2013年度比△5.0% ②91.2% ③99.7% ④97.9% ⑤96.6% ⑥—</p>
リスク マネジメント	<p>・地震などをはじめとする各種リスクに対する訓練を実施し、必要な検討や見直しを実施している状態</p>	<p>—</p>	<p>・鉄道に関わるBCPの規定、災害対応訓練の実施</p>
	<p>・情報セキュリティに関する重大な事故・被害が発生していない状態</p>	<p>—</p>	<p>・情報セキュリティに関する重大な事故・被害の発生なし</p>
ガバナンス	<p>健全な経営や事業運営により、上場企業グループとして維持、存続、発展している状態</p> <p>①法令、上場規則(CGコード)など企業活動ルールの趣旨に即した機関運営、情報開示などの 取り組みが実施されている状態 ②株主との長期安定的な関係の構築、対話の促進などが行われている状態 ③グループ全体のガバナンスが向上している状態(統制活動などの効率的かつ効果的展開など)</p>	<p>—</p>	<p>・適法かつ適切に機関運営、情報開示などの取り組みを実施 ・機関投資家などとの対話を適宜実施 ・各調査や職務執行確認書の確認などを通じ 重大な不備は無いと認識</p>